



“入院を外来に” “外来を家庭に” “家庭で健康に”

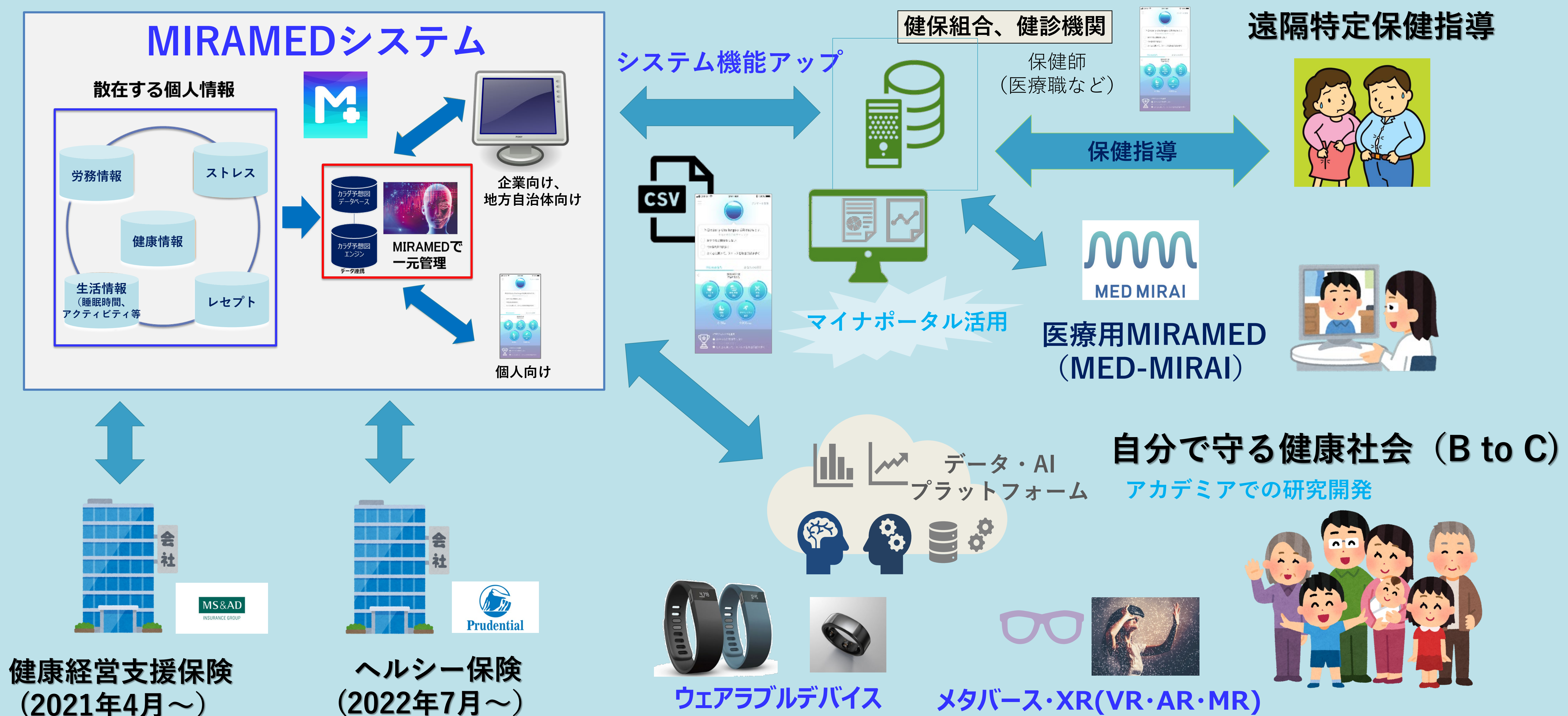
【健康リスク可視化】健康リスクの見える化と行動変容推進モデル開発

健診結果を“自分ゴト化”するアプリで生活改善を促し健康社会の実現を目指す

特定保健指導・保険商品を通じて利用拡大、今後は医療機関での活用も視野

メタボリックシンドローム（メタボ）は、腹部に脂肪が蓄積する内臓脂肪型肥満に、脂質代謝異常・高血圧・高血糖のうち2つ以上が当てはまる状態を指し、特定健診・保健指導の実施は2008年から法制化されている。しかし、実際にメタボと診断されても自覚症状がないことが多く、放置すれば寿命を縮める病気になる可能性が高くても真剣に受け止める人は決して多くない。そこで、健康関連情報からリスク表示と日々の生活習慣へのフィードバックの伴走機能のアプリケーション「カラダ予想図 MIRAMED」を研究開発した。これには、自分の健康状態の現在・未来をアプリケーションでの数値・画像などによる体験型で学ぶプロセスによって、「自分ゴト化」をする機能を組み込んでいる。また、行動変容プロセスを食事・運動・ストレス・睡眠などの視点から日々評価サポートする機能により継続利用できるようにした。

また近年、「健康経営」として、企業が社員の健康維持をサポートすることが求められるようになり、管理者画面などの応用により「MIRAMED®」導入の可能性が広がってきている。また、今後は最新技術分野の研究開発の促進を継続しつつ、医療機関での診療においてアプリが利用できるよう、プログラム医療機器としての承認を受けるため現在準備中である。



未病、特定保健指導対応アプリ（MIRAMED®）

◆ニーズ

- ・簡易な健康状態の理解
- ・継続的な生活習慣改善
- ・遠隔で保健指導・評価



「カラダ予想図 MIRAMED」

